

令和3年度

朝来市施策評価実施報告書

---

<目次>

1. 目的 .....	1
2. 朝来市行政評価システムの全体における位置づけ .....	1
3. 実施内容 .....	3
4. 市民アンケート調査結果 .....	8
5. 総合判定 .....	9
6. 評価書 .....	9

## 1. 目的

本事業の目的は、施策ごとのコスト負担のあり方・成果をもたらすための施策評価のあり方を検討することです。

そもそも、施策評価は、総合計画に掲げる施策の達成度合いを評価・分析することで、まちづくりの進捗状況や課題の把握を行うものです。本事業においては、市民アンケート調査における施策に関する満足度・重要度と施策ごとの目標への達成度、事業環境の変化などから、施策ごとのコスト負担のあり方・成果をもたらすための施策のあり方を検討します。

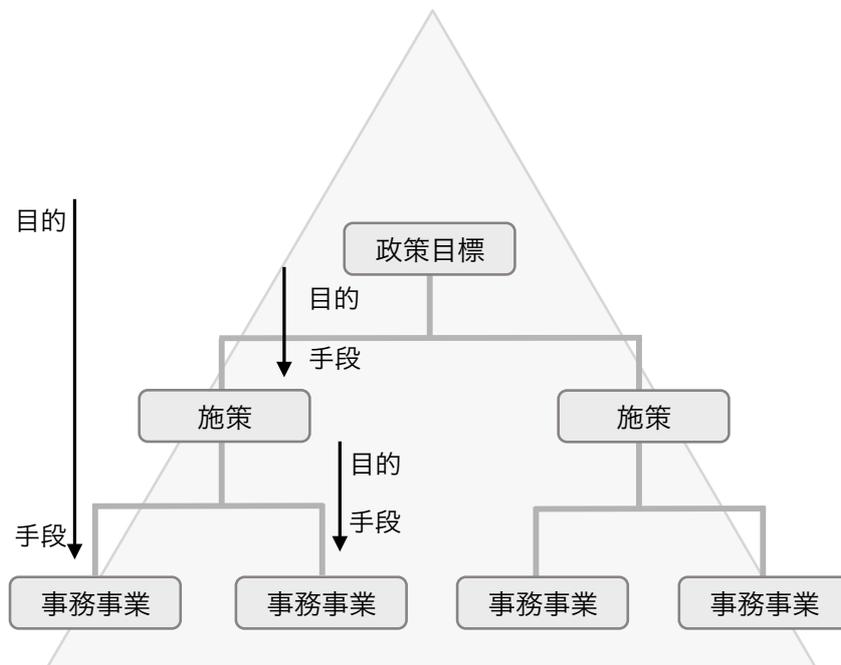
## 2. 朝来市行政評価システムの全体における位置づけ

### (1) 政策目標・施策・事務事業

本評価システムでは、施策について政策目標を達成するための事業群として位置づけ、そして、事務事業を政策目標-施策で示された姿を実現するための手段として位置づけます。

本施策評価においては、施策目標の達成へ向けて、市民意識調査における満足度・重要度及び施策目標の達成度を確認し、コスト負担のあり方及び今後施策としてとるべき成果のあり方を検討します。

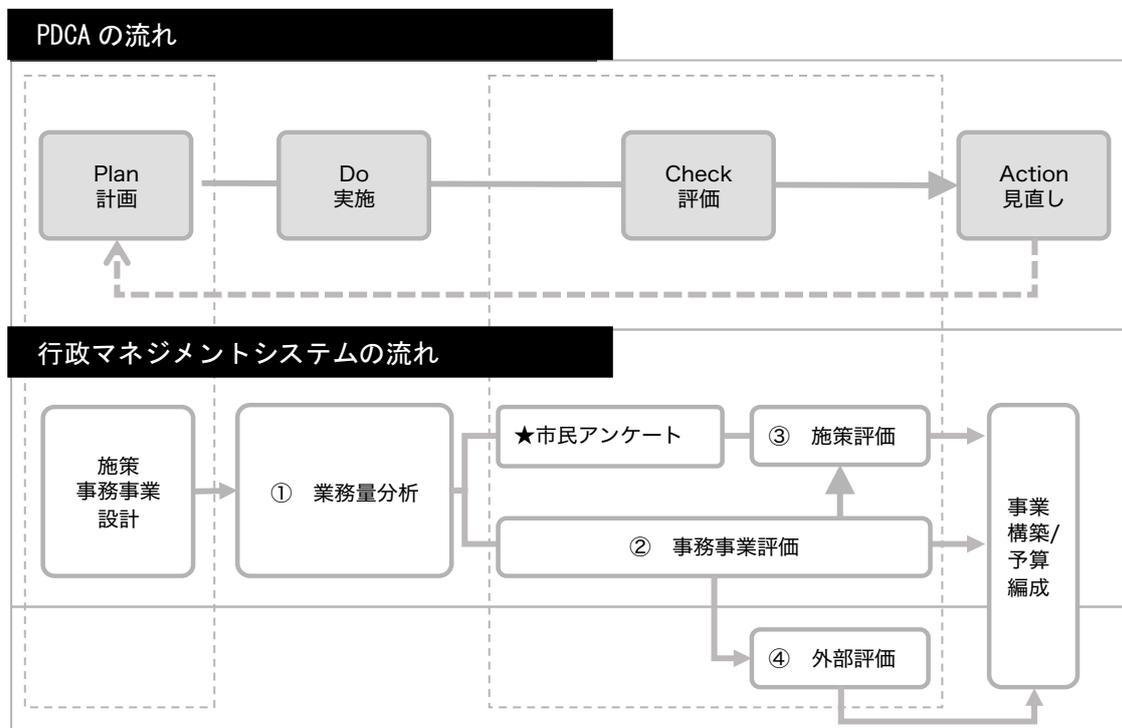
図表 1 政策目標→事務事業の関係



## (2) 施策評価の位置づけ

行政評価マネジメントを一体となって進めるために、事務事業評価～施策評価までの体系化が必要です。職員一人ひとりがどの事業にどれくらい時間を投入し（①業務量分析）、どのような成果を効率的に産出（②事務事業評価）し、それぞれの施策の成果と今後の方向性について、現課の意見と市民の声を合わせて分析することで、施策課題の解決に市の施策が有効に機能しているのか（③施策評価）を検証します。さらには、（④外部評価）により、市民目線での検証を行います。これらの各種分析・検証を繰り返すことで、次年度の予算編成・施策形成・事務事業構築を行います。

図表 2 全体の流れ



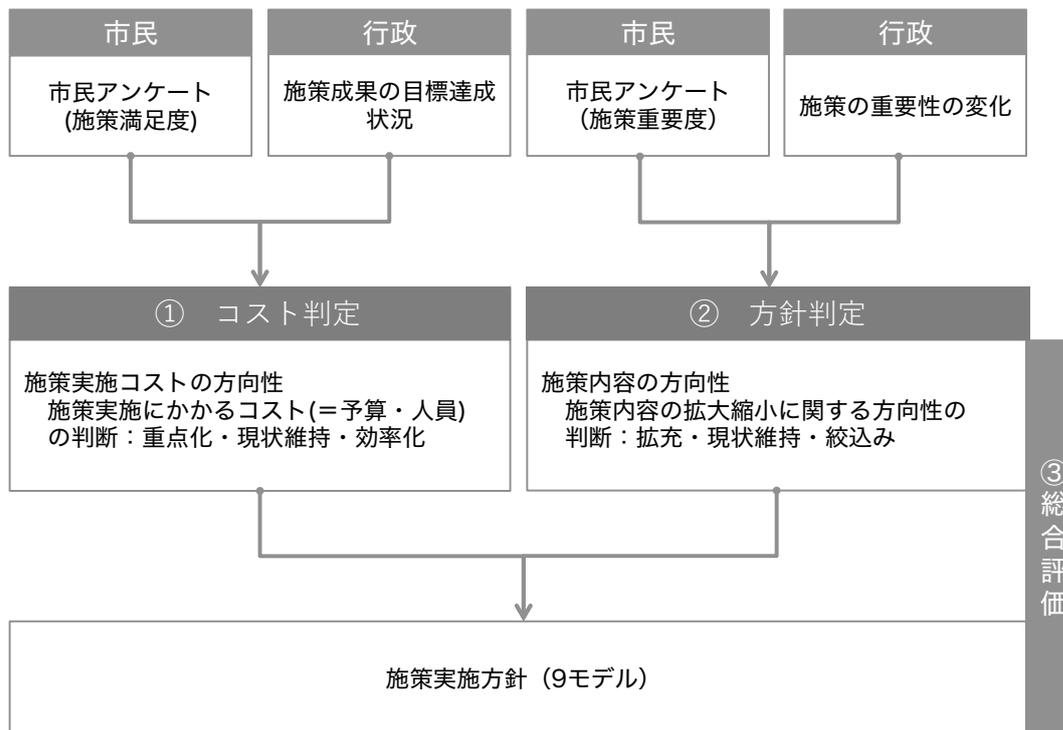
### 3. 実施内容

#### (1) 全体の流れ

全体としては以下の流れとなります。

- ① 市民アンケートの施策満足度と施策成果の目標達成度からコスト判定を行います。
- ② 市民アンケートの施策重要度と施策の重要性から方針判定を行います。
- ③ ①コスト判定及び②方針判定から、施策の今後の方向性を総合評価します。

図表3 施策の成果と課題/今後の方針



#### (2) 行政評価にかかる職員研修会

令和3年5月20日に実施しました。

### (3) かけるべきコストと行うべき事業量のあり方の検討

政策目標を達成するため施策が有効に働いているのか、サービスの受け手である市民の意識とサービスを提供する行政の動きと考え方をかけ合わせて判定しました。まず、2つの方向性での検討をしました。

#### ① それぞれの施策は今後どれくらいコストをかけるべきなのか？

施策ごとのこれまでの市民満足度の高低と施策成果の目標達成度の高低で判定しました。

1 「縮小」=コストを絞り込む。

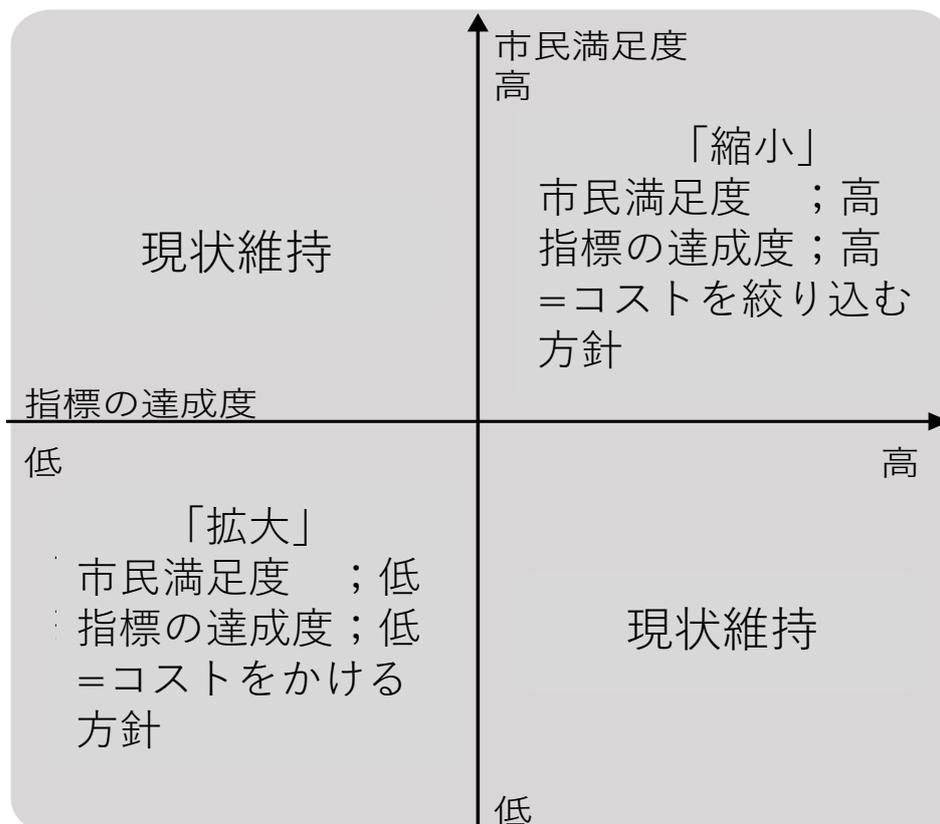
市民満足度が高く、指標の達成度が高い施策は「縮小」=「コストを絞り込む」方針

2 「拡大」=コストをかける。

市民満足度が低く、指標の達成度が低い施策は「拡大」=「コストをかける」方針

3 それ以外は「現状維持」の方針

図表 4 コスト判定マトリックス



② それぞれの施策は今後、事業の本数・量を増やす/減らすべきなのか。

施策ごとのこれからの市民重要度の高低と施策の重要性の高低で判定しました。

1 「拡大」=事業の本数・量を増やす。

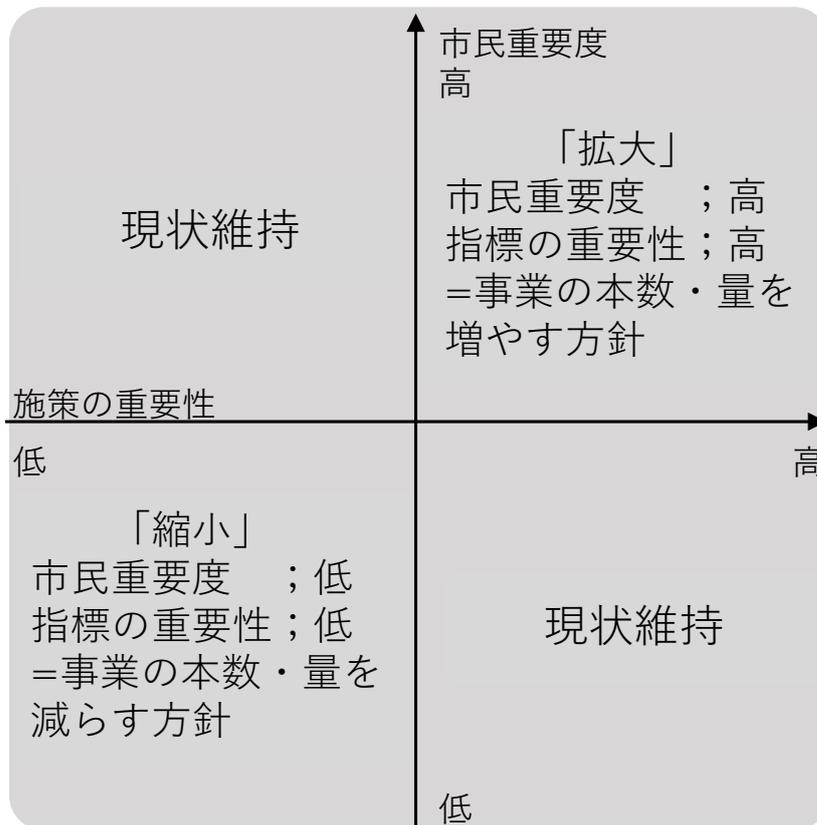
市民重要度が高く、施策の重要性が高い施策は「拡大」＝「事業の本数・量を増やす」方針

2 「縮小」=事業の本数・量を減らす。

市民重要度が低く、施策の重要性が低い施策は「縮小」＝「事業の本数・量を減らす」方針

3 それ以外は「現状維持」の方針

図表 5 事業数判定マトリックス



(4) 総合評価

その上で、これらの二つの軸を組み合わせることで、以下9つの区分で施策の方向性を評価しました。これらの施策の方向性を基にして、予算編成を行うことを想定します。

図表6 9つの施策の方向性

		コスト判定		
		拡大	現状維持	縮小
方針 判定	拡大	【Ⅰ】コストをかけても獲得すべき成果を向上させるべき施策領域	【Ⅱ】コストは現状を維持しながら、成果を向上させるべき施策領域	【Ⅲ】コストを抑制しながら、成果を向上させるべき施策領域
	現状維持	【Ⅳ】必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域	【Ⅴ】コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	【Ⅵ】コストを抑制しながら、成果を維持すべき施策領域
	縮小	【Ⅶ】必要な場合はコストをかけるが、内容の絞込みをすべき施策領域	【Ⅷ】コストは維持しつつ、内容の絞込みをすべき施策領域	【Ⅸ】コストを抑制しながら、内容を見直すべき施策領域

(5) 施策評価シート

以下に示します。

図表 7 評価シート

令和3年度 施策評価シート

令和 年 月 日

◆施策の概要

総合計画体系		施策名	
主担当課		担当課	
概要			

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1					
	2					
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度		重要度	
-----	--	-----	--

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上		中		下
成果・課題等							

◆方針判定

判定	施策の重要度		上		中		下
	市民意向調査での重要度		上		中		下
重要度の考え方							

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大		維持		縮小
	施策実施方針		拡大		維持		縮小
1次評価		【今後の方向性】					
2次評価		【今後の方向性】					

#### 4. 市民アンケート調査結果

アンケート調査での施策ごとの満足度・重要度に関する統計値の加重平均処理を行うことで、数値化を行いました。その上で±0.2を中としました。

図表8 市民アンケート調査における満足度・重要度

No	施策名等	満足度		重要度	
		数値	指標	数値	指標
	全平均	0.16	-	1.06	-
1	人材育成・シティプロモーションの推進	0.08	中	0.70	下
2	産業振興と雇用促進	-0.06	中	1.11	中
3	朝来の強みを活かした観光振興	0.03	中	0.98	中
4	持続的な定住に向けた施策の推進	0.08	中	1.16	中
5	計画的な土地利用と市街地整備の推進	-0.09	中	1.02	中
6	多文化交流の推進	0.12	中	0.53	下
7	付加価値を高める農畜産業の振興	0.01	中	0.93	中
8	みんなで取り組む災害に強いまちづくり	0.21	中	1.35	中
9	消防・防犯体制と交通安全の充実	0.46	上	1.32	中
10	森林が持つ多面的な機能を発揮させる林業の振興	0.00	中	0.94	中
11	みんなで支える地域福祉の推進	0.24	中	1.16	中
12	生涯学習・生涯スポーツの推進	0.27	中	0.92	中
13	豊かな心を育む文化芸術の振興	0.13	中	0.54	下
14	全ての市民の人権が尊重されるまちづくり	0.11	中	0.77	中
15	後世に残したい歴史文化遺産の保存活用	0.30	中	0.79	中
16	利便性のある公共交通の確保	-0.39	下	1.07	中
17	循環と強制の環境保全の推進	0.51	上	1.25	中
18	暮らしを支える上下水道の整備	0.66	上	1.42	上
19	快適な生活基盤の整備	0.31	中	1.36	中
20	子育て支援の充実	0.40	中	1.37	上
21	確かな学力と豊かな心を育む教育の推進	0.21	中	1.19	中
22	魅力ある教育環境の推進	0.26	中	1.34	中
23	出会い応援事業の推進	0.01	中	0.73	下
24	健やかな乳幼児の育成支援	0.21	中	1.38	上
25	安心できる地域医療体制の充実	-0.04	中	1.58	上
26	こころとからだの健康（健幸）づくりの推進	0.43	中	1.27	中
27	豊かな高齢社会の創出	0.33	中	1.11	中
28	障害のある人の自立支援の充実	0.20	中	1.30	中
29	持続可能な自律した財政運営	-0.02	中	1.17	中
30	信頼される職員の育成	0.00	中	1.23	中
31	広報広聴等の充実による情報発信	0.10	中	0.77	中
32	地域力を高めるための協働のまちづくりの推進	0.10	中	0.67	下
33	自治会活動の支援	0.10	中	0.71	下
34	総合計画に基づく成果志向の進行管理	0.02	中	0.79	中
35	広域行政組織等団体との連携推進	0.28	中	1.10	中

---

## 5. 総合判定

1次評価では現状維持であるVが77.14%と多くを占めました。2次評価でもVが60.00%と多くを占めましたが、それ以外の判定にも分散しました。

図表9 1次・2次評価における評価結果

評価/類型	1次評価		2次評価	
	数	割合	数	割合
I	0	0.0%	1	2.86%
II	5	14.29%	4	11.43%
III	2	5.71%	2	5.71%
IV	1	2.86%	7	20.00%
V	27	77.14%	21	60.00%
VI	0	0.0%	0	2.86%
VII	0	0.0%	0	0.0%
VIII	0	0.0%	0	0.0%
IX	0	0.0%	0	0.0%
計	35	100.0%	35	100.0%

図表10 判定表及び判定マトリックス

別紙1

## 6. 評価書

別紙2

以上

施策テーマ	施策No	施策名	主担当課	担当課		予算額(実施計画ベース)				コスト判定				方針判定			評価							
						R2		R1		増減		経費削減率	目標達成状況	市民満足度	判定	施策重要度	市民重要度	判定	1次	2次	今後の方向性			
						一財	一財	一財	一財	一財	一財													
好きなまちで働く	1	1	【1】人財育成・シニアプロモーションの推進	総合政策課	市民協働課	生涯学習課			15,923	289	27,058	958	▲ 11,135	▲ 669	88.3%	ほぼ達成	中	維持	上	下	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。人材育成事業についての周知に努めること。
	1	2	【2】産業振興と雇用促進	経済振興課					317,592	138,780	470,538	126,619	▲ 152,946	12,161	101.7%	達成	下	維持	上	中	維持	V	IV	必要な場合はコストを拡大し、成果達成に向けた施策展開を図ること。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業所への適切な支援を行うこと。
	1	3	【3】朝来の強みを活かした観光振興	観光交流課	各支所				295,195	77,735	309,003	77,741	▲ 13,808	▲ 6	61.5%	未達成	中	維持	上	中	維持	V	IV	コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ施策重要度「上」であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。
	1	4	【4】持続的な定住に向けた施策の推進	総合政策課	農林振興課	経済振興課	都市開発課		346,184	30,801	397,742	40,925	▲ 51,558	▲ 10,124	103.5%	達成	中	維持	上	中	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	1	5	【5】計画的な土地利用と潤いある地域整備の推進	都市開発課	地籍調査課				468,187	34,821	456,901	44,975	11,286	▲ 10,154	100.9%	達成	下	維持	上	中	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	1	6	【6】多文化交流の推進	秘書広報課	和田山地域振興課	各支所			13,894	13,222	11,453	10,778	2,441	2,444	67.1%	未達成	中	維持	中	下	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。オンライン等を活用し、多文化交流が行えるような仕組みを検討すること。
	1	7	【7】付加価値を高める農畜産業の振興	農林振興課	農畜委員会事務局				379,617	147,311	354,602	140,401	25,015	6,910	85.7%	ほぼ達成	中	維持	中	中	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。堆肥の仕舞面積を拡大する取り組みを検討すること。
好きなまちでエコライフ	2	1	【8】みんなで取り組む災害に強いまちづくり	防災安全課	農林振興課	建設課			164,516	25,174	101,992	47,177	62,524	▲ 22,003	81.0%	ほぼ達成	中	維持	上	上	拡大	II	II	コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。
	2	1	【9】消防・防犯体制と交通安全の充実	防災安全課	総合政策課	市民課	各支所		206,632	98,074	193,720	99,528	12,912	▲ 1,454	117.1%	達成	上	縮小	上	上	拡大	III	III	コストを抑えながら、成果を向上させるための施策展開を図ること。
	2	1	【10】森林がもつ多面的な機能を発揮させる林業の振興	農林振興課					258,147	90,975	205,818	67,424	52,329	23,551	71.4%	未達成	中	維持	上	中	維持	V	IV	コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ施策重要度「上」であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。
	2	1	【11】みんなで支える地域福祉の推進	社会福祉課	市民課	ふくし相談支援課	各支所		825,234	344,695	776,728	371,670	48,506	▲ 26,975	73.6%	未達成	中	維持	上	中	維持	V	IV	コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ施策重要度「上」であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。
	2	2	【12】生涯学習・生涯スポーツの推進	生涯学習課	各支所				231,484	145,122	192,020	148,499	39,464	▲ 3,377	80.3%	ほぼ達成	中	維持	上	中	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	2	2	【13】豊かな心を育む文化芸術の振興	芸術文化課					158,953	112,637	177,164	117,827	▲ 18,211	▲ 5,190	80.1%	ほぼ達成	中	維持	中	下	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	2	2	【14】全ての市民の人権が尊重されるまちづくり	人権推進課	生涯学習課	各支所			29,749	16,749	27,055	14,189	2,694	2,560	87.0%	ほぼ達成	中	維持	中	下	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	2	2	【15】後世に残したい歴史文化遺産の保存活用	文化財課	生野支所				105,868	57,567	97,072	44,010	8,796	13,557	88.3%	ほぼ達成	中	維持	中	下	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。文化財活用に向けた取り組みを行うこと。
	2	3	【16】利便性のある公共交通の確保	総合政策課					126,311	101,876	125,066	110,367	1,245	▲ 8,491	66.5%	未達成	下	拡大	上	中	維持	IV	IV	必要な場合はコストを拡大し、成果達成に向けた施策展開を図ること。
	2	3	【17】循環と共生の環境保全の推進	市民課	朝来支所	都市開発課			180,483	22,611	103,268	22,524	77,215	87	70.5%	未達成	上	維持	中	中	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
2	3	【18】暮らしを支える上下水道の整備	上下水道課					1,113,476	884,494	1,106,042	875,861	7,434	8,633	107.4%	達成	上	縮小	上	上	拡大	III	III	コストを抑制しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。経営の安定化と上下水道施設の長寿命化を図ること。	
2	3	【19】快適な生活基盤の整備	建設課	芸術文化課	農林振興課	都市開発課		604,679	214,533	682,022	233,276	▲ 77,343	▲ 18,743	83.3%	ほぼ達成	中	維持	中	上	維持	V	V	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。	

施策テーマ	施策No	施策名	主担当課	担当課		予算額(実施計画ベース)					コスト判定				方針判定			評価					
						R2		R1		増減		経費削減率	目標達成状況	市民満足度	判定	施策重要度	市民重要度	判定	1次	2次	今後の方向性		
							一財		一財		一財												一財
好きなまちで子育て	3	1	【20】子育て支援の充実	こども育成課	市民課	社会福祉課	1,695,956	665,795	1,631,704	591,147	64,252	74,648	86.4%	ほぼ達成	上	拡大	上	上	拡大	Ⅱ	Ⅰ	コストをかけたも獲得すべき成果を向上させるための施策展開を図ること。子育て相談・支援体制の充実強化を図ること。	
	3	2	【21】確かな学力と豊かな心を育む教育の推進	学校教育課	こども育成課		214,463	181,685	207,229	175,885	7,234	5,800	94.2%	ほぼ達成	中	維持	上	中	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。応用力に課題があり、課題への対応策を講じながら学力向上につなげていくこと。	
	3	3	【22】魅力ある教育環境整備の推進	学校教育課	こども育成課	学校給食センター	620,563	412,450	810,337	469,791	▲189,774	▲57,341	86.9%	ほぼ達成	中	維持	上	上	拡大	Ⅱ	Ⅱ	コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。	
	3	4	【23】出会い応援事業の推進	総合政策課	山東支所		2,400	0	2,400		0	0	88.8%	ほぼ達成	中	維持	中	下	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。	
	3	5	【24】健やかな乳幼児の育成支援	地域医療・健康課	市民課		152,342	120,893	154,039	125,020	▲1,697	▲4,127	97.5%	ほぼ達成	中	維持	上	上	拡大	Ⅱ	Ⅱ	コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。	
好きなまちで生涯現役	4	1	【25】安心できる地域医療体制の充実	地域医療・健康課			760,180	748,727	718,680	718,680	41,500	30,047	84.3%	ほぼ達成	下	維持	上	上	拡大	Ⅱ	Ⅱ	コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。	
	4	2	【26】こころからの健康(健康)づくりの推進	地域医療・健康課	市民課		176,398	152,936	181,462	164,096	▲5,064	▲11,160	42.2%	未達成	上	維持	中	上	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。市民の健康意識の高揚や実践につながる支援・指導に取り組むこと。	
	4	3	【27】豊かな高齢社会の創出	高齢福祉課	山東支所	市民課	ふくし相談支援課	1,307,532	1,152,846	1,367,718	1,138,924	▲60,186	13,922	97.8%	ほぼ達成	中	維持	中	中	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	4	4	【28】障害のある人の自立支援の充実	社会福祉課	市民課	ふくし相談支援課	991,091	292,721	941,487	283,030	49,604	9,691	94.2%	ほぼ達成	中	拡大	中	上	維持	Ⅴ	Ⅳ	必要な場合はコストを拡大し、成果達成に向けた施策展開を図ること。	
好きなまちでいつまでも	5	1	【29】持続可能な自律した財政運営	財務課	秘書広報課	税務課	人権推進課	4,063,960	3,082,774	4,396,041	3,276,957	▲332,081	▲194,183	106.4%	達成	中	維持	上	中	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	5	2	【30】信頼される職員の育成	総務課				10,578	10,317	10,203	10,003	375	314	83.8%	ほぼ達成	中	維持	上	中	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	5	3	【31】広報広聴等の充実による情報発信	秘書広報課	総務課	ケーブルテレビセンター		224,312	37,584	213,437	26,251	10,875	11,333	86.3%	ほぼ達成	中	維持	中	下	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	5	4	【32】地域力を高めるための協働のまちづくりの推進	市民協働課	和山地域振興課	各支所		113,614	36,740	108,703	36,571	4,911	169	54.4%	未達成	中	維持	上	下	維持	Ⅴ	Ⅳ	コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ「施策重要度」上であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。
	5	5	【33】自治会活動の支援	市民協働課	和山地域振興課	各支所		109,356	63,356	70,632	66,132	38,724	▲2,776	93.3%	ほぼ達成	中	維持	上	下	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	5	6	【34】総合計画に基づく成果志向の進行管理	総合政策課				167,120	162,465	180,588	179,242	▲13,468	▲16,777	81.3%	ほぼ達成	中	維持	上	下	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
	5	7	【35】広域行政組織等団体との連携推進	総合政策課	財務課	防災安全課		1,131,242	1,131,208	967,462	967,366	163,780	163,842	95.0%	ほぼ達成	中	維持	中	中	維持	Ⅴ	Ⅴ	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。
合計							17,583,231	10,809,963	17,777,386	10,823,844	▲194,155	▲13,881											

※令和2年度における各課の業務内容等に基づいて整理。(支所が担う各種団体等の事務局業務も含む)

増減率(%) ▲1.1 ▲0.1

達成6 上5 拡大3 上22 上10 拡大7 Ⅱ5 Ⅰ1  
 ほぼ達成21 中26 維持30 中13 中15 維持28 Ⅲ2 Ⅱ4  
 未達成8 下4 縮小2 下0 下10 縮小0 Ⅳ1 Ⅲ2  
 Ⅴ27 Ⅳ7  
 Ⅴ21

		コスト判定		
		拡大	維持	縮小
方針判定	拡大	【Ⅰ】コストをかけても獲得すべき成果を向上させるべき施策領域	【Ⅱ】コストは現状を維持しながら、成果を向上させるべき施策領域	【Ⅲ】コストを抑制しながら成果を向上させるべき施策領域
		【20】子育て支援の充実	【8】みんなで取り組む災害に強いまちづくり 【22】魅力ある教育環境整備の推進 【24】健やかな乳幼児の育成支援 【25】安心できる地域医療体制の充実	【9】消防・防犯体制と交通安全の充実 【18】暮らしを支える上下水道の整備
	維持	【Ⅳ】必要な場合はコストをかけて成果を維持すべき施策領域	【Ⅴ】コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	【Ⅵ】コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域
		【2】産業振興と雇用促進 【3】朝来の強みを活かした観光振興 【10】森林がもつ多面的な機能を発揮させる林業の振興 【11】みんなで支える地域福祉の推進 【16】利便性のある公共交通の確保 【28】障害のある人の自立支援の充実 【32】地域力を高めるための協働のまちづくりの推進	【1】人財育成・シティプロモーションの推進 【4】持続的な定住に向けた施策の推進 【5】計画的な土地利用と潤いある地域整備の推進 【6】多文化交流の推進 【7】付加価値を高める農畜産業の振興 【12】生涯学習・生涯スポーツの推進 【13】豊かな心を育む文化芸術の振興 【14】全ての市民の人権が尊重されるまちづくり 【15】後世に残したい歴史文化遺産の保存活用 【17】循環と共生の環境保全の推進 【19】快適な生活基盤の整備 【21】確かな学力と豊かな心を育む教育の推進 【23】出会い応援事業の推進 【26】こころとからだの健康(健幸)づくりの推進 【27】豊かな高齢社会の創出 【29】持続可能な自律した財政運営 【30】信頼される職員の育成 【31】広報広聴等の充実による情報発信 【33】自治会活動の支援 【34】総合計画に基づく成果志向の進行管理 【35】広域行政組織等団体との連携推進	
		【Ⅶ】必要な場合はコストをかけるが、内容の絞込みをすべき施策領域	【Ⅷ】コストは維持しつつ、内容の絞込みをすべき施策領域	【Ⅸ】コストを抑制しながら、内容を見直すべき施策領域
		縮小		-003-

# 別紙2

令和3年度 施策評価シート

令和 3 年 6 月 11 日

## ◆施策の概要

総合計画体系	11	施策名	人財育成・シティプロモーションの推進
主担当課	総合政策課		担当課 市民協働課、生涯学習課
概要	生き生きと活躍する市民が多い魅力的な朝来市にするために、まちへの愛着や誇り・当事者意識や自負心を持ち、自分のやりたいことにチャレンジするASAGOiNGな人を育む取組を推進してきました。		

## ◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	家族や友人に、朝来市への移住・定住を勧めたいと思う市民の割合	%	41.5	37.1	89.4%
	2	将来、朝来市で暮らしたいと思う中学校3年生の割合	%	43.3	35.2	81.3%
	3	地域ブランド調査（認知度）全国順位	位	700	744	94.1%
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	「ASAGOiNGな人」を育成するための事業参加者数	人	220	539	245.0%
	2	（上記の内、18歳以下）	人	30	324	1080.0%
	3	各種メディアでの朝来市情報採用回数	回	1,318	1,053	79.9%
	4	└新聞、テレビ（観光・移住）				
	5					

## ◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

## ◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	達成	○	ほぼ達成	未達成
		市民意向調査での満足度	上	○	中
成果・課題等	各年齢層に応じた情報発信については工夫・改善が必要であるが、シビックプライドやASAGOiNGな人を育むための情報発信や対話の場等により、市民主体の活動等が少しずつ生まれている。また、SNSなどを活用して市民自らがまちの情報・魅力を発信しつつあるものの、公式サイト等で市民自らの発信を誰もが閲覧できる仕組みが必要である。				

## ◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上	中	下
		市民意向調査での重要度		上	中
重要度の考え方	ASAGOiNGな人を育むための情報発信や学びの場・対話の場において18歳未満への取組は、すぐに成果につながりにくいものの、10年後20年後のまちづくりにおいてとても重要な施策である。				

## ◆評価

判定	コスト（予算）	拡大	○	維持	縮小
		施策実施方針	拡大	○	維持
1次評価	V	【今後の方向性】 第2期朝来市創生総合戦略に沿って、市民主体の活動や発信が育まれるよう、引き続き行政から市内外に向けてまちの動き・魅力を伝える情報発信や学びの場・対話の場づくりを推進する。			
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。人材育成事業についての周知に努めること。			

◆施策の概要

総合計画体系	12	施策名	産業振興と雇用促進
主担当課	経済振興課		担当課
概要	企業の設備投資の受け皿となる新たな産業団地の造成検討及び市内事業者の経営相談、雇用の安定確保のため、ジョブサポあさごでUIターン就職に関する情報発信を行い地元就職へのマッチングを進めました。そのほか、新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障を来たした事業者の経営相談や支援金等の事業者支援を行いました。		

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	新規創業者数 ※延べ	件	40	48	120.0%
	2	就職成立件数 ※延べ	件	20	12	60.0%
	3	企業誘致件数 ※延べ	件	4	5	125.0%
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	ASAGO大学開催回数→セミナー開催	回	4	16	400.0%
	2	ジョブサポあさご相談件数	件	20	15	75.0%
	3	企業誘致イベント出展回数	回	2	0	0.0%
	4	起業等相談受託件数	件	80	131	163.8%
	5	事業所訪問件数	件	200	57	28.5%

◆市民意向調査

満足度	下	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	○	達成		ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上		中	○	下
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山東工業団地には市外からの企業が進出し、市が所有する工業団地は完売した。新たな産業団地の在り方を外部委員で検討した結果、旧山東町域において産業団地を造成することは、有効であるとの意見提案をいただいております。今後、検討懇話会の意見を参考としつつ、コロナ禍における企業の投資動向等を検証を加え検討を進める。</li> <li>・地域企業の育成支援については、あさご元気産業創生センターの業務が企業の情報発信を主としていたものを相談業務に重点を置き推進しており、起業及び売上拡大の相談、新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障を来たしている事業者の相談業務にも応じている。</li> <li>・市内事業者の新型コロナウイルス感染症の影響による新規採用等の状況について注視するとともに市内における雇用の推進と人材の定着を促進していく必要がある。</li> </ul>						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業や創業希望者の窓口となるあさご元気産業創生センターは、主要業務を相談業務とする方針のもと、事業者目線で伴走型支援を行う必要があり重要度は高い。</li> <li>・企業誘致及び市内事業者の規模拡張の受け皿となる市が所有する産業団地が山東工業団地が完売したことから、造成の必要性等を検討する必要があり重要度は高い。</li> <li>・人口減少、少子高齢化が進む中、市内企業における人材不足、人材育成が喫緊の課題であるとともに、新型コロナウイルス感染症による影響で新規採用等の状況についても注視し、市内における雇用の推進と人材の定着を促進するため、企業と求職者の橋渡しなどの就業支援を行う必要があり重要度は高い。</li> </ul>						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 ・新型コロナウイルス感染症による影響が長引くことにより、ダメージを受けた市内事業者等を支援する必要がある。あさご元気産業創生センター、商工会、金融機関等連携を深め、市内事業者の安定した経営や新規事業者等への支援を行っていく。 ・産業団地については市内事業者の規模拡張及び新型コロナウイルス感染症の影響による国内回帰企業等を誘致するため産業団地の造成について検討していく。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、企業の投資動向等にも変化が生じてきていることもあり、市内企業も含めアンケートを実施する。 ・市内企業における人材不足、人材育成が喫緊の課題であるとともに、新型コロナウイルス感染症による影響で新規採用等の状況についても市内事業者の状況を注視し、雇用の推進と人材の定着を促進するため、企業と求職者の橋渡しなどの就業支援を行っていく。					
2次評価	IV	【今後の方向性】 必要な場合はコストを拡大し、成果達成に向けた施策展開を図ること。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者への適切な支援を行うこと。					

◆施策の概要

総合計画体系	13	施策名	朝来の強みを活かした観光振興
主担当課	観光交流課		担当課 生野支所、山東支所、朝来支所
概要	市内観光資源の魅力を磨き、観光客の満足度を高めるため、観光情報センターなどで観光情報の発信や案内を実施し、各種イベント・受け入れ体制の整備を行ってきました。		

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	竹田城跡入込観光客数（年間）	千人	350	102	29.1%
	2	竹田城跡入込観光客数（訪日外国人観光客数）	千人	10.0	0.6	6.0%
	3	竹田城跡以外の観光入込客数（道の駅を除く。年間）	千人	950	549	57.8%
	4	日本遺産関係施設の観光入込客数（年間）	千人	130	76	58.5%
	5	市内の一人当たり観光消費額	円	3,500	4,368	124.8%
	6	ボランティアガイドの人数	人	55	51	92.7%
成果達成指標	1	観光PR回数（回数）	回	10	1	10.0%
	2	メディアへの情報発信回数（年間）	回	140	296	211.4%
	3	旅行代理店へのプロモーション回数（年間）	回	4	2	50.0%
	4	ガイド養成講座・観光セミナー開催回数（年間）	回	3	0	0.0%
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	R2前半はコロナの影響により世論の状況を見つつ外部での観光PRを中止せざるを得なかったが、後半はオンラインによる商談会やメディア露出の回数を増やし、観光PRを行うことができた。今後は、アフターコロナ期において朝来市へ足を運んでもらうために、継続してSNSなどによるPRを行ったり、オンラインツアー等のコロナ対策を行った事業を実施する必要があると考える。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	観光施策は市の重要施策に位置付けられており、市民の関心度も高いため、重要度は高いと判断する。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 コロナ禍において急激な入込客数の増が見込めない中で、社会情勢を注視しながら、限りある予算の中でアフターコロナを見据えた施策展開の必要がある。					
2次評価	IV	【今後の方向性】 コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ施策重要度「上」であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	14	施策名	持続的な定住に向けた施策の推進			
主担当課	総合政策課		担当課	農林振興課、経済振興課、都市開発課		
概要	定住人口の確保を図るため、若者・子育て世代を中心とした居住支援、新規就農者支援、起業・就職支援、空き家バンク事業や移住サポーターによる受け入れ体制の充実など、様々な移住・定住支援を展開してきました。					

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	空き家バンク年間成約件数（年間）	件	15	21	140.0%
	2	住宅建築件数（単年度件数）	件	83	71	85.5%
	3	定住促進住宅入居率	%	80.0	68.0	85.0%
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	移住定住相談件数（年間）	件	200	581	290.5%
	2	情報発信の投稿件数（年間）	件	60	96	160.0%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	○	達成		ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	複数の部署間による連携により、移住者数も過去3ヵ年とも130人を超えており、移住相談件数の指標は目標を大きく上回っている。今後は関西圏だけでなく首都圏での効果的なPRと、就農・就職・起業など生計・独立に向けた支援や、移住後も関係者を繋げる機会が必要。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	総合計画の柱として人口減少対策を掲げており、社会減を抑制する定住促進施策は重要度が高い。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 若者・子育て世代を中心とした定住促進に向けて、関係部署がより一層連携を図るとともに、仕事（起業・就農等含む）と住まいをセットで検討できる機会や、都市部企業等へのPRも充実させ、人口の社会減を少しでも抑制する取り組みを継続する。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	15	施策名	計画的な土地利用と潤いある地域整備の推進
主担当課	都市開発課		担当課 地籍調査課
概要	地域経済の振興、定住人口の増加及び市の活性化を図るため、安全・安心・快適に暮らし続けられるまちづくり・景観づくり・公園整備などを計画的に進めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	良好な住生活環境が整備されていると感じる市民の割合	%	45.0	45.4	100.9%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	修景助成件数（延べ）	件	20.0	16.0	80.0%
	2	道路改良工事延長（新市街地形成区域内）	m	350.0	350.0	100.0%
	3	地籍調査による調査済面積	km <sup>2</sup>	265.9	261.1	98.2%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	下	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	○	達成		ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上		中	○	下
成果・課題等	・景観形成地区（竹田及び生野地区）において、景観に配慮した魅力ある地域整備を継続していくために、景観形成に対する住民意識の向上と修景助成の認知度を高め、町並みの維持を図る必要がある。 ・和田山駅周辺及び新市街地（枚田・立ノ原・法興寺地区）において、まちの賑わいと交流の場の持続的な創出を目指し、豊富な地域資源を活用したハード・ソフト整備を推進する必要がある。 ・地籍調査事業については、土地利用の把握や災害復旧の迅速化等に、時間とコスト面で多に貢献している。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	・朝来市景観計画に基づく歴史的・文化的町並みを維持していくために地域住民との連携と意識向上が重要である。 ・生活利便機能を集約・充実した暮らしの拠点づくりと企業誘致等にとって魅力的な立地条件により、生産・経済活動が行える土地利用を計画的に誘導する土地利用の推進が重要である。 ・人口減少・高齢化の進行及び所有者不明土地等の影響により、境界立会が困難、境界を知る地権者の減少等により、調査の遅延に伴う関連公共事業の推進や災害対策に支障をきたさないよう着実に事業展開をすることが重要である。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 定住人口の増加及び市の活性化を図る以下の取組を推進 ・和田山駅周辺の市民の利便性の向上につながる南北自由通路の整備及びJR遊休地の再開発に向けた取組 ・多世代の人々が集う公園の快適さと楽しさの機能と防災機能を持つ公園整備 歴史的・文化的町並みを維持を図るためのハード・ソフト整備					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	16	施策名	多文化交流の推進		
主担当課	秘書広報課		担当課	和田山地域振興課、生野支所、山東支所、朝来支所	
概要	交流人口の増加と地域活性化を図るため、宍道市など関係市町、海外姉妹都市との相互訪問や経済活動など、地域内外の交流を進めてきました。また、在住外国人支援のため、日本語教室も開催してきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	国際交流・国内交流など多様な交流が推進されていると感じる市民の割合	%	41.0	27.5	67.1%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	国内交流参加者数（年間）	人	170	0	0.0%
	2	国外交流参加者数（年間）	人	37	0	0.0%
	3	外国人日本語教室受講者数（年間）	人	25	27	108.0%
	4	外国人日本語指導ボランティア者数	人	15	24	160.0%
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	・国内、国外交流参加者数は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業を実施できなかった。 ・日本語教室は、技能実習生の支援も含め市内事業者との情報共有を図りながら開催した。ボランティアスタッフについて募集活動を行い人材確保に努めるとともに、ニーズに合った指導ができるように対応している。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	国内外的な交流活動や日本語教室は継続していく必要があり、市内事業者と情報共有を図り、技能実習生をはじめ在住外国人が地域の一員として安心して生活ができる多文化共生社会を進めていく必要がある。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 中学生の海外派遣によるグローバル人材育成をはじめこれまでの多文化交流を継続していくとともに、在住外国人との相互理解を深め、多文化共生社会を進めていく必要がある。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。コロナ禍であっても、オンライン等を活用し、多文化交流が行えるような仕組みを検討すること。					

◆施策の概要

総合計画体系	17	施策名	付加価値を高める農畜産業の振興			
主担当課	農林振興課		担当課	農業委員会事務局		
概要	農地の効率的な利用や鳥獣被害の減少対策を進め、農業者の所得安定を図ってきました。また、特産農産物の生産拡大と販路拡大を通じた農業者や農業経営体の育成強化を進めてきました。さらに、新規就農者への移住定住に向けた支援を行ってきました。					

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	耕作放棄地面積	ha	178.0	140.0	127.1%
	2	農業の振興が図られていると感じる市民の割合	%	35.0	29.8	85.1%
	3	あさご土づくりセンターで生産した堆肥の使用面積	ha	190	85	44.7%
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	利用権設定面積	ha	1,050	600	57.1%
	2	認定農業者数（畜産も含む）	人	42	33	78.6%
	3	新規就農者数（延べ）	人	50	42	84.0%
	4	堆肥生産量（年間）	t	2,564	2,985	116.4%
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	耕作放棄地面積については整理が進みつつあり、目標を達成している。 堆肥の使用面積拡大に向けて、品質の向上及びPRを実施し耕畜連携を進める必要がある。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	耕作放棄地の拡大は本市の住環境問題と結びつき、新規就農者の育成及び農地の有効活用は重要である。そのため耕畜連携等を含め付加価値の高い作物や販路の拡大による「儲ける農業」の実現し、農業者の収入安定を図る必要がある。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 新規就農者等後継者の育成による農業者の確保及び農地の有効活用を図ると共に、販路開拓による農業者の収入安定を図っていく。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。堆肥の仕様面積を拡大する取り組みを検討すること。					

◆施策の概要

総合計画体系	211	施策名	みんなで取り組む災害に強いまちづくり
主担当課	防災安全課		担当課 農林振興課、建設課
概要	市内及び圏域での自主防災組織の活動支援、一斉避難訓練の実施などにより市民の防災意識の高揚を図ってきました。また、耐震診断・耐震改修等での住宅の耐震化を促進し、加えて備蓄物資の確保、防災資機材の整備を行ってきました。		

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	防災・減災対策など災害に強いまちづくりが進められていると感じる市民の割合	%	39.0	31.6	81.0%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	一斉避難訓練への市民参加率	%	33.0	0.0	0.0%
	2	水防用資材（土のう用真砂土・袋）配布団体数（年間）	団体	70	64	91.4%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	市民アンケートによる防災・減災対策など災害に強いまちづくりが進められていると感じる市民の割合はほぼ横ばいであるが、自主防災組織等の活動支援により市民の防災意識の高揚は図られている。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	自主防災組織は、災害が発生した際には、被災者の救出・救助、情報の収集や避難所の運営など、非常に重要な役割を担っており、地域における防災力の向上を図るためには、今後も継続して自主防災組織に対する支援が必要である。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針	○	拡大		維持		縮小
1次評価	Ⅱ	【今後の方向性】 自然災害と感染症の複合災害に備えなければならない状況下で、感染対策を踏まえた地域防災活動の取組が必要であるため、より一層の支援が求められる。					
2次評価	Ⅱ	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	212	施策名	消防・防犯体制と交通安全の充実			
主担当課	防災安全課		担当課	総合政策課、市民課、生野支所、山東支所、朝来支所		
概要	消防団の再編、消防車両の計画的更新、消防水利の整備など消防体制の充実を図るとともに、地域と連携した合同訓練などを行ってきました。また、消費者被害対策や交通安全対策を進めてきました。					

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	消防体制が充実していると感じる市民の割合	%	58.0	48.2	83.1%
	2	刑法犯認知件数（朝来警察署管内・年間）	件	150	127	118.1%
	3	市内における交通事故発生件数（年間）	件	90以下	60	150.0%
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	消防団員数	人	1,010	960	95.0%
	2	地域防犯カメラ設置台数	箇所	35	45	128.6%
	3	交通安全教室開催回数	回	70	42	60.0%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	上	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	○	達成		ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度	○	上		中		下
成果・課題等	令和2年度の朝来市内犯罪発生状況としては、窃盗による犯罪が最も多い状況にあり、防犯意識の高まりから年々防犯カメラの設置台数が増加している。少子化に伴い、消防団員の確保が困難な状況にあるため、消防団員数が減少している。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	自治会や地域自治協議会と連携し、窃盗等の犯罪防止に向けた活動等を引き続き実施するとともに、防犯協会や南但馬警察署と連携し犯罪抑止に努める必要がある。消防団員の確保のため、入団・活動しやすい環境づくりを推進する。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大		維持	○	縮小
	施策実施方針	○	拡大		維持		縮小
1次評価	Ⅲ	【今後の方向性】 防犯協会、地域自治協議会、警察等と連携し、コストを抑えながら安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取組を推進する。また、消防団に対する広報活動を展開し、消防団員の確保を円滑に進める。					
2次評価	Ⅲ	【今後の方向性】 コストを抑えながら、成果を向上させるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	213	施策名	森林がもつ多面的な機能を発揮させる林業の振興			
主担当課	農林振興課		担当課			
概要	素材生産量の増加を目指し、林道・作業道などの森林基盤の整備を行うとともに、自然災害・害虫等による被害の未然防止・早期発見・早期駆除により被害拡大を防止してきました。					

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	素材生産量	m <sup>3</sup>	18,000	15,682	87.1%
	2	整備森林面積	ha	500	278	55.6%
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	作業道開設延長（年間）	m	30,000	25,160	83.9%
	2	枯損木伐倒量（年間）	m <sup>3</sup>	100	0	0.0%
	3	市行造林地間伐面積（年間）	ha	43	43	100.0%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	森林整備にあたっては、木材価格の低迷から補助事業を活用しなければ実施することは困難な状況であるため、補助事業の予算によって成果が左右されてしまう。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	市域の84%を占める森林の内、手入れ不足の森林が45%程度あると試算している。災害に強い森づくりや水土保全など公益的機能の向上を図るためにはさらなる整備が必要であり、その重要度は高いと考える。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 森林環境譲与税を有効的に活用するため、今後の方針を定めたビジョンを策定することで、さらなる森林整備を推進していく。					
2次評価	IV	【今後の方向性】 コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ施策重要度「上」であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	214	施策名	みんなで支える地域福祉の推進		
主担当課	社会福祉課		担当課	市民課、ふくし相談支援課、生野支所、山東支所、朝来支所	
概要	一人ひとりが互いに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、民生委員・児童委員や社会福祉協議会などと連携しながら地域の福祉活動を推進する。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	この1年間で、何らかのボランティア活動を行った市民の割合	%	35.0	24.4	69.7%
	2	民生委員・児童委員、福祉委員、民生・児童協力委員活動回数（年間）	回	46,500	36,028	77.5%
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	民生委員・児童委員、福祉委員、民生・児童協力委員研修参加者数（年間）	人	5,800	1,362	23.5%
	2	ボランティア登録者数	人	2,300	2,524	109.7%
	3	ボランティア登録グループ数	団体	175	180	102.9%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	指標については概ね達成しているが活動についてはコロナの関係で減少している。地域の福祉を支える事業であり、引き続き民生委員等地域福祉に携わる方の活動を支援する。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	少子高齢化や核家族化の進行により支援を必要とする人は多く、引き続き民生委員等福祉に携わる方の活動を支援する。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 引き続き地域福祉の向上を目指し、各種の活動を支援する。					
2次評価	IV	【今後の方向性】 コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ施策重要度「上」であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	221	施策名	生涯学習・生涯スポーツの推進
主担当課	生涯学習課	担当課	生野支所、山東支所、朝来支所
概要	生涯学習・スポーツなどの各種事業を実施し、市民の自主的な学習の向上・健康福祉の増進などの活動を促進してきました。また、各種スポーツ組織の育成・活動の支援、誰もが利用しやすい図書館運営を進めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1 市民講座・自主運営講座・同好会受講者数（延べ）	人	11,100	6,693	60.3%
	2 日頃からスポーツ・運動をしている市民の割合（ウォーキング・体操などの運動を含む）	%	43.0	41.3	96.0%
	3 図書貸出冊数（年間）	冊	172,000	145,603	84.7%
	4				
	5				
	6				
成果達成指標	1 市民講座新規企画数（年間）	講座	3	3	100.0%
	2 各種スポーツ大会開催数（年間）	回	12	0	0.0%
	3 市民への図書館情報発信数（年間）	回	14	14	100.0%
	4				
	5				

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	市民講座等の受講人数や図書貸出冊数、スポーツ大会の開催数など、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響を受け減となっている。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	市民の自主的な教育の向上、健康福祉の増進など、生涯学習現役に向けた活動を促進することにより、人口の自然減を抑制することから重要度は高い。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがい重視されるようになってきているため、コストは現状を維持しながら、生涯学習・生涯スポーツ等を積極的に推進していく。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	222	施策名	豊かな心を育む文化芸術の振興
主担当課	芸術文化課		担当課
概要	優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するために文化会館で自主文化事業を、美術館では常設展、企画展、公募展や美術活動支援事業を実施してきました。また、芸術文化に関するサークル活動を支援し、自主的な芸術文化活動の振興に努めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	自主文化事業入場率	%	65.0	72.4	111.4%
	2	美術館年間入館者数	人	15,000	9,325	62.2%
	3	芸術文化に親しむ機会や場所の提供が充実していると感じる市民の割合	%	40.0	34.9	87.3%
	4	この1年間に市内のホールや美術館などで文化・芸術鑑賞をした市民の割合	%	35.0	20.9	59.7%
	5					
	6					
成果達成指標	1	文化会館利用日数率	%	72	50	69.4%
	2	文化会館友の会会員数	人	250	278	111.2%
	3	美術館企画展、公募展、イベント、講座の開催回数（年間）	回	55	45	81.8%
	4	美術館友の会会員数	人	250	202	80.8%
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	美術館入館者については、コロナ渦に伴う臨時休暇、企画展等の中止により目標を達成する事が出来なかった。 自主文化事業については、現状のコストを維持しながらより多くの市民が参加できるような事業展開が必要である。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	心豊かで潤いのある暮らしを営むため、地域の特性に応じた質の高い芸術文化に触れる機会を提供する必要がある。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 市民の心豊かで潤いのある暮らしのために芸術文化振興に継続的に取り組む必要がある。市民ニーズを的確に捉え、多くの市民が参加できる企画を実施していく。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	223	施策名	全ての市民の人権が尊重されるまちづくり		
主担当課	人権推進課		担当課	生涯学習課、生野支所、山東支所、朝来支所	
概要	講演会が実施できない状況下でもケーブルテレビ等を利用し人権啓発事業を推進し、会館（隣保館）や多世代交流センターでは教育文化事業・サークル活動などを実施してきました。また、男女共同参画社会の実現に向け啓発のほか、セミナー等の開催など様々な取り組みを進めてきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	人権が尊重されたまちづくりが進められていると感じる市民の割合	%	30.0	27.0	90.0%
	2	男女平等を尊重したまちづくりが進められていると感じる市民の割合	%	25.0	21.0	84.0%
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	人権講演会及び学習会等への参加者（年間）	人	2,000	196	9.8%
	2	隣保館・多世代交流センターの延べ利用者数（年間）	人	19,500	7,241	37.1%
	3	男女共同参画講演会等イベントの参加者数（年間）	人	150	35	23.3%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	人権・男女平等を尊重したまちづくりが進められていると感じる割合について、目標値はほぼ達成されているが、コロナ禍のように講演会等が実施できない状況下での啓発活動のあり方が課題である。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	部落差別解消推進法等人権3法、男女共同参画社会基本法などに基づく人権尊重・男女平等の尊重のまちづくりは、継続的に取り組む必要がある。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 人権を尊重しあい、男女平等をすすめるための効果的な施策を実施する。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	224	施策名	後世に残したい歴史文化遺産の保存活用
主担当課	文化財課		担当課 生野支所
概要	次世代に歴史文化遺産を継承し郷土の誇りを醸成していくために、文化財への登録や指定を推進しながら、保存整備・情報発信を行ってきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	市の伝統文化・歴史遺産が大切にされていると感じる市民の割合	%	64.0	56.5	88.3%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	竹田城跡の見学環境整備の推進	%	88.0	32.2	36.6%
	2	歴史文化遺産説明会・講演会参加者（年間）	人	400	169	42.3%
	3	市内学校への出前講座参加者（年間）	人	230	179	77.8%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	竹田城跡入城料金を基金として積み立てる等、長期的な城跡の維持管理を見据えた取り組みを実施している。竹田城跡、生野銀山等、朝来市の核となる歴史文化遺産へ訪れる観光客を、市内全域の周遊へ結びつけるための整備、情報発信システムを構築する必要がある。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	歴史文化遺産の更なる調査及び保存整備によって観光客誘致に取り組むとともに、遺産の適切な価値付けによって郷土愛の醸成を図る。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 観光誘致と、市民の郷土愛の醸成に取り組むため、現状を維持しつつ、目標達成に向けて事業を推進する。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。文化財活用に向けた取り組みを行うこと。					

◆施策の概要

総合計画体系	231	施策名	利便性のある公共交通の確保		
主担当課	総合政策課		担当課		
概要	利便性のある公共交通を確保するため、バス等の効率的な運行形態を検討してきました。また、鉄道や但馬空港の利用促進に向けた積極的な取り組みを実施してきました。				

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合	%	18.0	17.3	96.1%
	2	定期的にバス若しくはJRを利用している市民の割合	%	16.0	10.1	63.1%
	3	路線バス及びアコバスの乗車人数	人	250,000	177,677	71.1%
	4	鉄道乗車人員	人	550,000	397,485	72.3%
	5	但馬空港搭乗者数	人	902	268	29.7%
	6					
成果達成指標	1	高齢者等優待乗車カード「あこか」の購入者数	人	1,150	1,028	89.4%
	2	JR利用促進に係る啓発事業数	事業	3	3	100.0%
	3	但馬空港利用促進に係る啓発事業数	事業	3	5	166.7%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	下	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
	市民意向調査での満足度		上		中	○	下
成果・課題等	新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、利用者が全体的に減少した。但馬空港利用促進については航空運賃の助成事業等を実施したものの、搭乗者数は目標を大きく下回っている。バスについては、交通体系の再編により利用者数が増加してきたものの、目標には届いていない。アコバスについては、あこか購入者の減少により、比例して定期利用の乗車人員の減少に繋がったものと思われる。JRについては職員出張での利用や広報等での啓発を行ったものの、乗車人員数は目標を大きく下回っている。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	今後、高齢化率が一層高くなり、自動車運転免許証の返納も進むことが予測される中で、高齢者を中心とした移動手段の確保が重要となってくる。また、バス運転手不足も問題となっており、多様な移動手段の導入の検討が必要なため重要度は高い。						

◆評価

判定	コスト（予算）	○	拡大		維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	IV	【今後の方向性】公共交通は市民生活にとって必要不可欠な移動手段であり、行政、交通事業者、地域が連携し、現状の予算内で利便性の高い公共交通体系を構築していく。					
2次評価	IV	【今後の方向性】必要な場合はコストを拡大し、成果達成に向けた施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	232	施策名	循環と共生の環境保全の推進
主担当課	市民課	担当課	朝来支所、都市開発課
概要	クリーン但馬10万人大作戦の実施や不法投棄の抑制などを通じて自然環境の保全に努めてきました。また、集団資源回収、環境教育や啓発活動を実施し、ごみの減量化・再資源化を進めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	ごみの減量化や再資源化が推進されていると感じる市民の割合	%	60.0	42.3	70.5%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	一般廃棄物リサイクル率	%	29.8	26.6	89.2%
	2	集団資源回収の回収量	t	1,025	605	59.0%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	上	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
	市民意向調査での満足度	○	上		中		下
成果・課題等	新型コロナウイルス感染症の影響で全市的なクリーン但馬10万人大作戦が実施できなかったが、自主的に実施された地区もあり、市民の環境に対する関心が高まっている。一方で公害や野焼きなどの苦情が多く寄せられている。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	市民の生活環境の維持向上への意識が高くなっており、行政への要求も増えつつあるが、市民が自ら対応すること、事業者が対応することの役割分担の明確化が必要である。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 環境関連法令及び環境基準に即して事業実施を行うとともに、市民への情報提供・啓発を図る。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	233	施策名	暮らしを支える上下水道の整備
主担当課	上下水道課		担当課
概要	安全でおいしい水を安定的に供給するため、適正に水道施設の維持管理を行うとともに、水道施設の監視体制の強化を行い、水道施設の長寿命化を図るため計画的に管路の更新・耐震化を進めてきました。 また、文化的で衛生的な住みよい生活環境を実現及び持続するため、適正に下水道施設の維持管理を行うとともに、経営の効率化を図るため下水道施設の統廃合を進めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1 有収率	%	90.0	84.1	93.4%
	2 経常収支比率（下水道）	%	100.0	121.3	121.3%
	3				
	4				
	5				
	6				
成果達成指標	1 基幹管路更新率	%	9.2	5.3	57.6%
	2 下水道施設の統廃合	施設	31	32	96.9%
	3				
	4				
	5				

◆市民意向調査

満足度	上	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	○	達成		ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度	○	上		中		下
成果・課題等	水道施設については、基幹管路の更新を行いました。また、下水道施設については、下水道施設の統廃合を行いました。今後も、経営の安定化と上下水道施設の長寿命化を図ります。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	上下水道事業は、市民生活に欠かせない事業です。これまで同様、水道事業においては安全でおいしい水を安定的に供給し、下水道事業については文化的で衛生的な住みよい生活環境を実現及び持続する必要があります。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大		維持	○	縮小
	施策実施方針	○	拡大		維持		縮小
1次評価	Ⅲ	【今後の方向性】 上下水道施設は、老朽化が進行しています。現状を維持するためにも、経営状況を注視しつつも、必要な投資を行う必要があります。					
2次評価	Ⅲ	【今後の方向性】 コストを抑制しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。経営の安定化と上下水道施設の長寿命化を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	234	施策名	快適な生活基盤の整備		
主担当課	建設課		担当課	芸術文化課、農林振興課、都市開発課	
概要	交通の利便性の向上と安全・安心な道路交通網の確保のために、市道・橋梁の危険箇所の解消や、地域と連携した適切な管理・修繕を行ってきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	道路施設が充実していると感じる市民の割合	%	48.0	40	83.3%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	道路改良率	%	69.0	65.9	95.5%
	2	点検済橋梁数	橋	439	607	138.3%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	交通の利便性の向上と安全・安心な道路交通網の確保に向けて、計画的な事業実施や日常維持管理を実施してきました。また、地域と連携することで危険箇所の早期発見及び早期解消につながることから、今後も地域との連携を深めていく必要があります。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	市民の日常生活には、道路はなくてはならないものであり、いつも安全に安心して利用できる道路を維持することが大切となります。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 道路は安全に安心して利用できて当たり前の施設であり、さらなる利便性の向上と安定した維持管理の実施が必要である。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	31	施策名	子育て支援の充実
主担当課	こども育成課		担当課 市民課、社会福祉課
概要	認定こども園化の推進や保育料の軽減を図るとともに、放課後児童対策を行ってきました。また、福祉・医療・教育など分野を横断した連携を図り、子育て相談・支援体制の充実・強化を進めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	保育サービス等が充実していると感じる割合	%	70.0	60.5	86.4%
	2	(18歳以下のこどもを養育している人の内)				
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	待機児童の人数	人	0	0	100.0%
	2	子育て支援事業の延べ利用人数	人	20,000	17,704	88.5%
	3	子育て学習センター会員加入率	%	60	34	56.7%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	上	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	○	達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度	○	上		中		下
成果・課題等	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、子育て学習センターの各種事業を中止したこともあり、延べ利用人数は目標に達していない。 なお、子育て世帯からの相談は、電話にて受け付けており、子育て世帯の不安解消には一定の役割を果たしている。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	出生数が減少する中でも、国の将来を担う子育てに関する関心は高い。子育ては家庭が原則であるものの、地域として支える必要性も高く、今後においても関心は高いものと推察される。						

◆評価

判定	コスト（予算）	○	拡大		維持		縮小
	施策実施方針	○	拡大		維持		縮小
1次評価	Ⅱ	【今後の方向性】 ソフト面では、現状を維持しつつ、新たな取り組みも検討していく。また、ハード面では施設の経年劣化が見られるため、必要な改修・修繕を行っていく。					
2次評価	Ⅰ	【今後の方向性】 コストをかけても獲得すべき成果を向上させるための施策展開を図ること。子育て相談・支援体制の充実強化を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	32	施策名	確かな学力と豊かな心を育む教育の推進
主担当課	学校教育課		担当課
	こども育成課		
概要	児童生徒が基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、これを基盤として問題や課題を解決に導く思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学びに向かう力や人間性を身につける力の育成に取り組んできました。また、地域の人々や自然などに触れる体験を通して、自己認識や自己有用感、郷土愛の醸成を進めてきました。		

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	全国学力・学習状況調査による学力の指標（小学校）国語B問題	%	54.7以上	53.0	96.9%
	2	全国学力・学習状況調査による学力の指標（小学校）算数B問題	%	51.5以上	48.0	93.2%
	3	全国学力・学習状況調査による学力の指標（中学校）国語B問題	%	61.2以上	58.0	94.8%
	4	全国学力・学習状況調査による学力の指標（中学校）数学B問題	%	46.9	41.0	87.4%
	5	朝来市が好きだと回答した生徒の割合	%	90.0	89.0	98.9%
	6					
成果達成指標	1	家庭学習で学校の授業の予習をしている児童の割合（小学校）	%	62.6	64.4	102.9%
	2	家庭学習で学校の授業の予習をしている生徒の割合（中学校）	%	55.2	42.9	77.7%
	3	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をする子の割合	%	78.3以上	76.8	98.1%
	4	学校図書館での一人当たり平均貸し出し数（年間）	冊	20	17	85.0%
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	活用力（応用力）について課題がある。特に、中学校の数学においては課題である。教職員の授業力向上を図るための様々な研修会を開催するとともに、授業におけるユニバーサルデザイン化の活用にも努める必要がある。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	児童生徒がグローバル化や急速な情報化による技術革新など社会変化に対応することができる資質・能力を確実に育成していくためにも、また、地域との交流・体験をとおして郷土愛を育むためにも重要な施策である。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 継続的に全国学力・学習状況調査の結果を分析し、課題への対応策を見だし、学力向上につなげていく。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。活用力に課題があり、課題への対応策を講じながら学力向上につなげていくこと。					

◆施策の概要

総合計画体系	33	施策名	魅力ある教育環境整備の推進
主担当課	学校教育課		担当課
	こども育成課、学校給食センター		
概要	児童生徒等が安全に安心して学校園生活・家庭生活を送ることができるように教育・学習環境の整備や学校給食の充実を図ってきました。また、児童生徒の多様な学びに対応するため、教職員の資質・指導力の向上に向けた研修を実施してきました。併せて、保護者や地域の方々の学校運営協議会への参画など地域との協働による学校づくりを進めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	子どもたちが安心して授業に臨んでいると感じる市民の割合	%	52.6	45.1	85.7%
	2	学校施設・教育環境が充実していると感じる市民の割合	%	40.4	35.6	88.1%
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	地域住民として学校教育に関った人の割合	%	35.0	29.3	83.7%
	2	指導案検討を含んだ教員一人当たりの研究授業回数（年間）	回	1.1	0.70	63.6%
	3	学校栄養教諭が小中学校で給食指導に関った回数（年間）	回	160	155	96.9%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	空調設備やICT機器など児童生徒の安全安心で質の高い学習環境を整備してきた。今後はタブレット端末等ICT機器を効果的に授業に活用できるようICT教育推進に向けた教職員の研修を充実させていく必要がある。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	児童生徒等が安全安心な学校園生活を送るとともに、学校・家庭・地域の連携・協働による地域総がかりでの教育の実現を図るうえでも必要な施策である。また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の定着を図る上でも重要な施策である。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針	○	拡大		維持		縮小
1次評価	Ⅱ	【今後の方向性】 計画的に学校施設や教育・学習環境の整備を行うとともに、学校運営協議会への保護者、地域住民等の積極的な参画により、地域と共にある学校園を創っていく。また、地元産食材を活用した魅力あるおいしい学校給食を提供していく。					
2次評価	Ⅱ	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	34	施策名	出会い応援事業の推進
主担当課	総合政策課	担当課	山東支所
概要	未婚男女の新たな出会いの場の創出を目指し、企業や各種団体と協力しながら、地域ぐるみでの男女の出会い支援イベントを実施・支援してきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1 年間婚姻数	組	140	110	78.6%
	2 20～49歳の男性未婚率	%	42.3	42.7	99.1%
	3				
	4				
	5				
	6				
成果達成指標	1 婚活イベントの開催回数（年間）	回	8	7	87.5%
	2 婚活イベントの参加者数（年間）	人	200	72	36.0%
	3 婚活イベントのカップル成立数（年間）	組	40	43	107.5%
	4				
	5				

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	成果指標の「年間婚姻数」は、昨年度は150件で達成しており、年度によりばらつきがある。成果達成指標については未達成であるが、新型コロナウイルスの影響で、イベントの中止や参加定員を減らして開催したことが要因である。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	市民意向調査と施策としての重要度に関しは、人口減少対策に対する取組は市として重要であるとする。効率的な施策展開を図っていく必要がある。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 大人数での対面型のイベント開催が難しいことや参加者の固定化を避けるため、オンラインとリアル対面を組み合わせたイベントのほかコミュニケーション講座などの開催や、広域連携による開催など新たな手法での開催を図るとともに、婚活コーディネーターなどを活用し、マッチング後のフォロー体制を充実させる。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	35	施策名	健やかな乳幼児の育成支援		
主担当課	地域医療・健康課		担当課	市民課	
概要	妊娠期の精神的、身体的変化や産後の育児不安、子育ての困り感などに対して相談が出来るように相談窓口を設置し、安心して子どもを産み育てられるよう妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援を提供してきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	妊娠、出産に満足している者の割合	%	87.0	84.8	97.5%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問率（年間）	%	100	89.8	89.8%
	2	個別相談対応件数（定例相談事業、訪問、電話相談、来所相談）（年間）	件	1,900	2,092	110.1%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	成果指標の平均達成率は97.5%、市民の満足度は中程度となっている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等をうけて、十分な母子保健サービスが受けられず、育児不安を抱える保護者も増加している。このような現状においても、安心して相談ができる体制を整え、個別のニーズに応じてきめ細やかな相談支援を実施する必要がある。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	出生数は年々減少傾向にあり、核家族化や晩婚化など社会的背景も変化する中で、子育て家庭が孤立しやすい環境にある。次世代の担い手でもある子どもが健やかに成長できるよう安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進することは、少子化対策の観点からも重要度は高い。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針	○	拡大		維持		縮小
1次評価	Ⅱ	【今後の方向性】 現状予算の範囲内で、現在実施している事業の内容を充実、強化させ、保健師や助産師等による相談体制の強化を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の施策拡大を図っていく。					
2次評価	Ⅱ	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	41	施策名	安心できる地域医療体制の充実		
主担当課	地域医療・健康課		担当課		
概要	公立朝来医療センターや開業医と連携しながら医療体制を構築してきました。また、休日診療・夜間電話相談の実施など救急医療体制の充実、但馬こうのとり周産期医療センターの整備により安心して妊娠、出産できる環境づくりを進めてきました。				

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	公立朝来医療センターの医師数（兼務医師を含む）	人	11以上	8	72.7%
	2	かかりつけ医を持っている市民の割合	%	83.0	79.5	95.8%
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	医師就労支援対策交付金事業活用件数（年間）	件	2以上	2	100.0%
	2	あさご健康医療電話相談ダイヤル24利用者数（年間）	件	1,500	1,026	68.4%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	下	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上		中	○	下
成果・課題等	成果指標はほぼ達成しているものの、市民が安心できる地域医療体制への満足度は低い。現状を維持改善するために公立豊岡病院組合や市医師会との連携をさらに強化し、医師確保及び医療体制の充実に努める必要がある。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	安心できる地域医療体制の充実のため、公立豊岡病院組合、兵庫県、医師会等の協力・連携の下で公立朝来医療センターで勤務する医師確保は必要不可欠である。また市民ニーズに対応した診療機能の充実等がはかられるよう豊岡病院組合への働きかけ等が引き続き必要である。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針	○	拡大		維持		縮小
1次評価	II	【今後の方向性】 現状予算の範囲内で、豊岡病院を中心とする周産期医療センター、高度救急医療等の体制確保に加え、地域医療の充実のために医師確保対策等を進める。さらに南但休日診療所の運営、かかりつけ医の推奨、医療電話相談の利用促進などを図っていく。					
2次評価	II	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、成果を向上させる施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	42	施策名	こころとからだの健康（健幸）づくりの推進		
主担当課	地域医療・健康課		担当課	市民課	
概要	市民一人ひとりが健康意識の高揚を図れるよう、健康（健幸）づくりに関する普及活動・環境づくりを行ってきました。加えて、定期的な健診（検診）受診や食生活の改善などに取り組めるよう、受診環境の整備や健康教育・指導を充実させてきました。				

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	健康づくりへの支援が充実していると感じている市民の割合	%	45.0	38.0	84.4%
	2	国民健康保険一人当たり医療費上昇率	%	2.0以下	3.7	0.0%
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	特定健診受診率	%	52.0	40.3	77.5%
	2	健康教育参加人数・健康相談利用者数・訪問指導人数	人	4,400	3,312	75.3%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	上	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
		市民意向調査での満足度	○	上		中	
成果・課題等	成果達成指標の目標値は、ほぼ達成。国保一人当たり医療費の上昇率は、診療報酬の改定、高額入院患者や流行性疾患の発生状況により影響を受けるため、引き続き注視が必要である。特定健診受診率は、目標達成していないが、年々上昇している。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、集団教室等が実施できず、教室参加者等の実績値が低下した。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
		市民意向調査での重要度	○	上		中	
重要度の考え方	市民のいのちや健康（健幸）を守る施策として、健幸づくり・自殺対策・感染症予防対策に取り組むとともに、市民ひとり一人の自主的な健康づくりへの意識高揚を図っていくため、個人へのアプローチと合わせて、家庭や職場、地域へのアプローチも強化する必要がある。地域社会全体で健康（健幸）づくりを推進していく。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
		施策実施方針		拡大	○	維持	
1次評価	V	【今後の方向性】 健幸づくり条例に基づき市民の健幸意識の高揚や実践につながる支援・指導に取り組んでいく。さらに市全体で協働で健康（健幸）づくりを推進する体制を整備していく。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。市民の健康意識の高揚や実践につながる支援・指導に取り組むこと。					

◆施策の概要

総合計画体系	43	施策名	豊かな高齢社会の創出
主担当課	高年福祉課	担当課	山東支所、市民課、ふくし相談支援課
概要	地域包括支援センターを中心に地域住民と専門職との相互連携による地域包括ケアを推進してきました。また、高齢者の健康と生きがいのため、老人クラブ支援事業、シルバー人材センター支援事業等の実施、生活の場の確保として住宅改修費助成を進めてきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	元気高齢者の割合	%	80.0	78.2	97.8%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	シルバー人材センター会員数	人	500	543	108.6%
	2	地域ミニデイ事業実施地区数（年間）	地区	100	86	86.0%
	3	あさごいきいき百歳体操実施地区数（年間）	地区	70	78	111.4%
	4	緊急通報システムの設置数（延べ）	台	280	198	70.7%
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	達成	○	ほぼ達成	未達成
	市民意向調査での満足度	上	○	中	下
成果・課題等	シルバー人材センターは高齢者の社会参加、生涯現役の場としての認識の高まりや各種事業を取り入れたこと等により会員数はほぼ目標に到達してきている。また、地域での主体的な取組の地域ミニデイやいきいき百歳体操は、つどいの場や介護予防、閉じこもり予防、生きがいの場としても活発化しており、成果が出てきている。今後は、主体的な実施の継続やリーダーの育成が必要である。緊急通報システム設置数は、死亡や施設入所、転出転居等によりやや減少している。				

◆方針判定

判定	施策の重要度	上	○	中	下
	市民意向調査での重要度	上	○	中	下
重要度の考え方	今後、団塊の世代の人々を含む多くの高齢者が多方面で活躍できるよう、本事業を推進するとともに、健康づくりと介護予防、生きがいを包括的に推進していくうえで必要な施策である。				

◆評価

判定	コスト（予算）	拡大	○	維持	縮小
	施策実施方針	拡大	○	維持	縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 高齢者の健康寿命を延伸し、生きがいを持って健康で暮らせるよう施策展開を図っていく。			
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。			

◆施策の概要

総合計画体系	44	施策名	障害のある人の自立支援の充実			
主担当課	社会福祉課		担当課	市民課、ふくし相談支援課		
概要	障害のある人が自立して生活することができる地域社会の実現のために、福祉サービスの充実を図ってきました。生活支援や就労支援などの充実を図り、地域全体で障害のある人を支える体制づくりを進めてきました。					

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	障害福祉サービス利用申請者数	人	374	365	97.6%
	2	福祉的就労人数	人	121	106	87.6%
	3	施設入所者数	人	73	75	97.3%
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	委託相談支援事業所における相談支援延べ人数	人	980	1,573	160.5%
	2	身体・知的障害者相談員相談活動件数	件	400	207	51.8%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	上
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	障害福祉サービスの支給決定を行うことで、障害者（児）が自立した生活を送るための支援を行う。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度	○	上		中		下
重要度の考え方	国の制度により、障害のある人が自らの能力を最大限に発揮し、地域の中で自立して生活することができるよう支援する。						

◆評価

判定	コスト（予算）	○	拡大		維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 身体障害者手帳所持者数は減少傾向にあるが、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳は増加傾向にある。また障害福祉サービスの利用申請者数は増加傾向である。障害者の自立を後押しする施策であるため継続して事業を進める。					
2次評価	IV	【今後の方向性】 必要な場合はコストを拡大し、成果達成に向けた施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	51	施策名	持続可能な自律した財政運営
主担当課	財務課	担当課	秘書広報課、税務課、人権推進課
概要	持続可能な自律した財政基盤を確立するため、国県の財政支援等の有効活用を図りつつ人件費、物件費等の経常経費の削減、公債費等の将来負担の抑制に努め、健全な財政運営を図ってきました。		

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1 経常収支比率	%	90.0以内	89.9	100.7%
	2 実質公債費比率	%	12.1	10.8	112.0%
	3				
	4				
	5				
	6				
成果達成指標	1 市税収納率	%	95.0以上	93.9	98.8%
	2				
	3				
	4				
	5				

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況	○	達成		ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	経常収支比率、実質公債費比率ともに、目標値内の数値となっている。 市税収納率は目標値を若干下回っており、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症対策に伴う徴収猶予措置の影響により前年度を下回っている。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	交付税の一本算定により、交付額が減少する中、より一層の事業の取捨選択や経常経費の抑制を行うことが重要となる。 また、税負担の公平性の観点からの徴税体制の強化が重要となる。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 限られた財源の中で、真に必要な事務事業に予算を配分し、事務事業評価等により事業効果が低いものについては、廃止も検討していく。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	52	施策名	信頼される職員の育成		
主担当課	総務課		担当課		
概要	行政課題や市民ニーズに迅速・的確に対応し、市民に信頼される職員を育成するため、人事評価制度の実施や職員研修等を行って職員の意識改革や資質の向上を図ってきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	職員研修受講率	%	60.0	50.3	83.8%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	職員研修講座数（全職員対象の研修を除く）	講座	35	38	108.6%
	2					
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受講対象者を限定する等、例年と異なる形での研修実施としたことが影響し、受講率が減少している。今後は、分散実施やオンライン実施等、コロナ禍においても多くの職員が受講できる研修となるよう検討していく。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	本施策は、市政運営を行う上で大前提のものであることから、上記のとおり判断する。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 コストは維持しつつ、コロナ禍においても多くの職員が参加できる環境を検討するとともに、職員意識の一層の向上に取り組む。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	53	施策名	広報広聴等の充実による情報発信		
主担当課	秘書広報課		担当課	総務課、ケーブルテレビセンター	
概要	市民の意向を把握するため、まちづくりフォーラムやふれあい市長室を開催して市民の意見を聴取し、市政への反映に努めてきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	市民の広報活動を必要と感じる市民の割合	%	80.0	73.8	92.3%
	2	ケーブルテレビの自主放送が役立っていると感じる市民の割合	%	50.0	40.2	80.4%
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	市ホームページアクセス数（年間）	件	5,000,000	4,943,808	98.9%
	2	市民フォーラム参加者数（年間）	人	650	49	7.5%
	3	ケーブルテレビ加入率（住居分）	%	93	83	89.4%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	広報等については、必要とされる市政情報の発信に努めるとともに、フォントを変更しより見やすい広報づくりに取り組んでいる。 市民フォーラムについては新型コロナウイルス感染症の影響で、対象者を限定した代替事業を実施した。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	市民が得たい市政情報や地域情報を広報紙、ケーブルテレビ、SNSなど多様な情報媒体を活用しながら情報発信に取り組んでいく。 多様な広聴機会の充実を図り、市民の意見を行政運営に反映できるように取り組んでいく。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】	必要とされる市政情報の発信と多様な広聴機会を開催し、より市政への関心を高められるように取り組んでいく。				
2次評価	V	【今後の方向性】	コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。				

◆施策の概要

総合計画体系	54	施策名	地域力を高めるための協働のまちづくりの推進		
主担当課	市民協働課		担当課	和田山地域振興課、生野支所、山東支所、朝来支所	
概要	自治意識の高揚を図り、自治会・地域自治協議会・市民活動団体の活動への市民参画を促進してきました。また、地域自治協議会を中心に地域おこし協力隊を配置し、地域課題の解決に向けた活動を行ってきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	地域自治協議会の活動に関わった市民の割合	%	39.7	21.6	54.4%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	地域自治協議会の実施する事業数（年間）	事業	153	115	75.2%
	2	市民活動支援事業への参加者数（年間）	人	150	166	110.7%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成		ほぼ達成	○	未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	コロナ禍により、各地域自治協議会において多くの事業が実施できなかったため、地域自治協議会の活動に関わった市民の割合は大きく低下した（前年33.3）。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	市施策の重要度は高いが市民意向調査の重要性は低い。地域自治協議会の活動が充実することにより、意識の差が減少すると考える。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 各自治協議会の活動が活発に行われ、また、地域課題の解決に向けた取組みが少しでも増えるよう支援を継続する。					
2次評価	IV	【今後の方向性】 コスト判定・方針判定ともに維持であるが、目標達成状況「未達成」かつ施策重要度「上」であり、必要な場合はコストを拡大して、成果達成に向けた施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	55	施策名	自治会活動の支援		
主担当課	市民協働課		担当課	和田山地域振興課、生野支所、山東支所、朝来支所	
概要	市民にとって最も身近な自治組織である自治会の自主的な活動を持続・活性化するため、様々な支援を行ってきました。加えて、自治会と地域自治協議会との連携強化を進めてきました。				

◆成果指標等

No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率	
成果指標	1	住んでいる地域に誇りや愛着を感じる市民の割合	%	68.4	63.8	93.3%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	地域づくり支援事業・集会所整備事業を活用した自治会の数（年間）	団体	32	30	93.8%
	2	地域自治協議会による地域づくり支援事業を活用した自治会の数（年間）	団体	105	101	96.2%
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	施策評価の目標達成状況については、ほぼ達成している。人口減少、高齢化による小規模集落が増える中、各区と地域自治協議会との連携強化を図る必要がある。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	自治会（区）は、市民にとって最も身近な自治組織であり、地域自治協議会との連携を図りながらも、自治会活動の支援は重要と考える。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】自治会等が課題解決や地域内の環境改善等を目的に、自主的な判断に基づき実施する事業について、引き続き支援していく。					
2次評価	V	【今後の方向性】コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	56	施策名	総合計画に基づく成果志向の進行管理		
主担当課	総合政策課		担当課		
概要	総合計画に基づいた施策、事業の進行管理を行い、計画・実行・評価・改善へと循環する行政マネジメントを推進してきました。また、持続可能な行政運営に向けた行財政改革の取組を進めてきました。				

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	効率的な行政運営がされていると感じる市民の割合	%	23.0	18.7	81.3%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1	事務事業評価により改善や見直しを検討する事務事業の率	%	35.0	10.4	29.7%
	2	職員提案制度による業務改善提案数（年間）	件	5	0	0.0%
	3	公共施設の総延べ床面積	m <sup>2</sup>	230,000	231,195	99.5%
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	下
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	事務事業評価により改善や見直しを検討する事務事業の率は目標に達していないが、毎年度評価を実施することで、常に改善等を検討する。公共施設の再配置については、市民への説明責任を十分果たしながら、公共施設再配置計画に基づく公共施設マネジメントを推進していく。						

◆方針判定

判定	施策の重要度	○	上		中		下
	市民意向調査での重要度		上		中	○	下
重要度の考え方	充た可能一般財源総額が減少する中で、より効果的かつ効率的な行政マネジメントを推進する必要があり、施策の重要度は今後ますます高くなると考える。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 充た可能一般財源総額が減少する中で、より効果的かつ効率的な行政マネジメントを推進する必要があり、現状コストの中で常に業務改善を図りながら施策を展開する。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					

◆施策の概要

総合計画体系	57	施策名	広域行政組織等団体との連携推進			
主担当課	総合政策課		担当課	財務課、防災安全課		
概要	効率的な行政運営を図るため、関係市町で組合等を設置し広域計画・ごみ処理・電算・病院・消防などを共同で行ってきました。また、関係市町との広域連携による共通課題の解決や行政サービスの向上に努めてきました。					

◆成果指標等

	No.	名称	単位	目標値	実績値	達成率
成果指標	1	共同処理事務事業数	事業	20以上	18	95.0%
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
成果達成指標	1					
	2					
	3					
	4					
	5					

◆市民意向調査

満足度	中	重要度	中
-----	---	-----	---

◆コスト判定

判定	施策成果の目標達成状況		達成	○	ほぼ達成		未達成
	市民意向調査での満足度		上	○	中		下
成果・課題等	南但広域行政事務組合、但馬広域行政事務組合、公立豊岡病院組合等、効率的な事務が見込まれる事務については、広域化により事業を推進している。また、豊岡市を中心とした但馬定住自立圏や福知山市・丹波市と取り組む3市連携推進会議等により共通する課題の解決に向けた取組を進めている。						

◆方針判定

判定	施策の重要度		上	○	中		下
	市民意向調査での重要度		上	○	中		下
重要度の考え方	朝来市単独での事務事業執行よりも広域化等により事務事業の効率的・効果的な推進が見込まれるものについては、今後においても、広域化等を検討していく。						

◆評価

判定	コスト（予算）		拡大	○	維持		縮小
	施策実施方針		拡大	○	維持		縮小
1次評価	V	【今後の方向性】 広域化等については、相手方があるため、対象となる事務事業を選定するとともに、相手方との十分な協議・調整が必要となることから、事業実施の中で広域化可能な事務事業を見極めていく。					
2次評価	V	【今後の方向性】 コストは現状を維持しながら、限られた財源の中で最大限の効果を上げるための施策展開を図ること。					